



なんぶ

# 議会だより

第50号

平成 29 年 3 月議会  
発行/平成29年4月28日

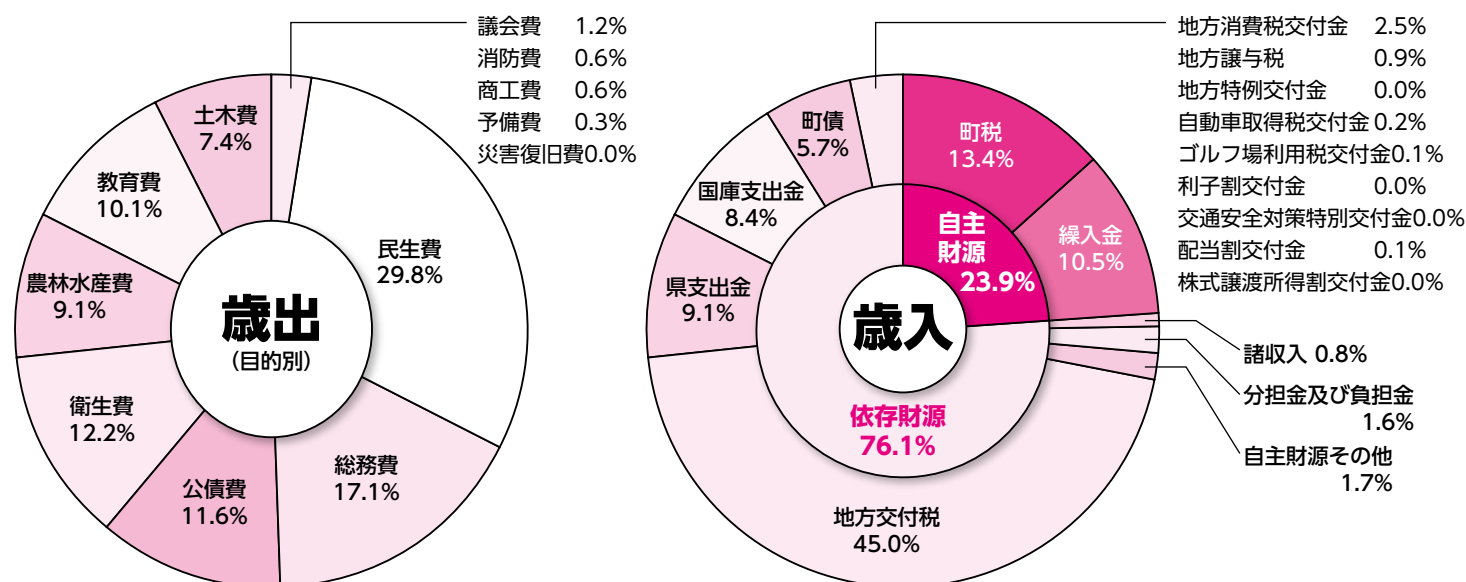


■ 3 月定例議会 .....	2
■ 一般質問ダイジェスト ...	6
■ 一般質問 .....	7
■ えぷろん .....	12
■ あとがき .....	12



歳入・歳出 68億9200万円

# 賛成多数で可決



## 《当初予算の内訳》

平成 29 年度一般会計予算は、新規事業として町内の小中学校の空調システム整備事業、公共料金審議会答申に基づく水道料金改定に伴う水道統合事業出資金、東西町公園整備事業や観光関連施設への無線 LAN 環境の整備などに重点予算化したため、前年度対比 10.2%増となる。

## 討論

### 反対

①生涯活躍のまち推進プロジェクトは事業費の半額が町費負担であり、問題である。

②地方創生施策である南部町版 C C R C 事業よりも子育て支援をすべき。

③「伯耆の国」の人件費がいまいなので問題がある。

④公共施設の指定管理はやめて、町直営にすべきである。

⑤残土処分場計画や跡地利用に反対する。

⑥町づくり会社は、町民の要望を取り入れた事業になっているのか問題である。

### 賛成

①総額68億9200万円の予算、どの事業も町民の生活に深く関わり、町政の推進に必要な予算である。

②地方創生施策である南部町版 C C R C 事業は、移住定住対策の一環であり、町づくり会社と一緒に、移住定住対策に取り組んでいる。

③小中学校の空調システム整備としてエアコンを全教室に設置する予算である。

会計名／議員名（議席番号順）	加藤	荊尾	滝山	長束	白川	三嶋	仲田	板井	景山	細田	井田	亀尾	真壁
平成 29 年度一般会計予算採決結果	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×

平成29年度  
当初予算

# 一般会計

賛成 10人  
反対 3人

★小中学校にエアコンを設置  
★水道料金改定に伴う水道事業会計への出資

## 3月 定例議会

平成29年度3月定例議会が、2日から23日までの会期で開催され、平成29年度一般会計・特別会計予算、条例の制定、平成28年度一般会計補正予算など35議案と4件の陳情請願、3件の議員発議案が審議され、3件の陳情請願が否決、1件の請願が継続審議になり、他全ての案件について可決されました。

### 主な 事業

小中学校空調システム整備事業 … 1億8164万1千円  
水道統合事業出資金 …………… 1億1522万8千円  
東西町公園整備事業 …………… 4294万2千円

### 日本オオサンショウウオの 会南部町大会事業

251万9千円

国の天然記念物であるオオサンショウウオ保護への啓発とともに、里地里山の豊かな環境を再確認し南部町のPRへと繋げていく。

**質疑** 南部町は以前、生息地の指定解除をしているが。

**回答** 現在生息しているため保護の啓発と町のPRを行う。

### 在宅育児世帯補助事業

1050万円

保育所を利用しない1歳に達するまでの児童を家庭で育児する保護者(育児休業給付金を受けていない方)に対して現金給付を行う。

**質疑** 保育所等を利用しないで在宅で育児をしている世帯か。

**回答** 在宅育児世帯に対する経済的支援で、月30,000円給付。

### 出張なんでも鑑定団招致事業

131万円

全国放送の番組を通じ南部町の魅力を発信する。

**質疑** 板祐生館の所蔵品をこの際PRできないか。

**回答** 放送の中で町の紹介があるのでその時にPRできると思う。

### 公衆無線LAN環境整備事業

749万8千円

町内9箇所の観光関連施設に、Wi-Fiアクセスポイント(AP)を設置する。

**質疑** 今後の設置予定は。

**回答** 年次的に、アクセスポイントを増やしていきたい。

### 地域振興協議 会会長報酬 地域振興 交付金事業

1081万  
1千円

5433万円

**質疑** 協議会が設立して10年目を迎え今まで据え置きだった会長等の報酬の引上げを検討するのか。

**回答** 各協議会は会長をはじめ職員が地域の課題解決に積極的に取り組んでいるため、報酬をはじめ組織体制や事業の見直しをはかり取り組んでいる。

### 3 月定例議会報告

## 議案第 20 号 南部町上水道事業の設置等に関する条例及び南部町上水道給水条例の一部改正について

①公共料金審議会答申を受け、水道料金を統合するため、会見地区の水道料金にあわせて西伯地区の水道料金を引き下げる。

②この条例の施行期日は、平成 29 年 4 月 1 日。

③水道料金の統合により、簡易水道施設条例を廃止する。

### 討論

#### 反対

①水道事業会計が厳しいのに収入減となる西伯地区の水道料金を引き下げる方法は適切ではない。

②水道料金統合は健全経営のための料金を目標に統合すべき。

#### 賛成

①公共料金審議会水道料金を統合するためには、会見地区の低い料金に合わせることで一番町民の皆さんに理解できると判断したものであり賛成すべきである。

請願、陳情名／議員名（議席番号順）	加藤	荊尾	滝山	長束	白川	三嶋	仲田	板井	景山	細田	井田	亀尾	眞壁
上水道事業の設置等に関する条例及び上水道給水条例の一部改正採決結果	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×

## 水道事業会計予算 歳入歳出 1 億 9219 万 3 千円

公共料金審議会答申を受けて、会見地区の水道料金に西伯地区の水道料金を合わせて料金を統一する。そのため、29 年度から 31 年度まで水道事業会計で不足する金額 1 億 1500 万円を基金から繰り入れる。

### 討論

#### 反対

基金は値下げの穴埋めではなく、全町民が公平に利益を得る健全経営のための目標料金を下げるために活用すべきである。

#### 賛成

公共料金審議会答申を受けて、水道料金が低い会見地区に西伯地区の水道料金を統合する。料金統合は、合併当初からの懸案事項であり議決すべきである。

会計名／議員名（議席番号順）	加藤	荊尾	滝山	長束	白川	三嶋	仲田	板井	景山	細田	井田	亀尾	眞壁
水道事業会計予算採決結果	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○

## 特別会計予算

国民保険事業……歳入歳出 15 億 5800 万円  
後期高齢者医療…歳入歳出 1 億 2985 万円  
墓苑事業……………歳入歳出 277 万円

農業集落排水事業…歳入歳出 2 億 6890 万円  
浄化槽整備事業………歳入歳出 5667 万円  
公共下水道事業………歳入歳出 1 億 8682 万円  
住宅資金貸付事業………歳入歳出 1440 万円

会計名／議員名（議席番号順）	加藤	荊尾	滝山	長束	白川	三嶋	仲田	板井	景山	細田	井田	亀尾	眞壁
各事業特別会計予算採決結果	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×

太陽光発電事業……………歳入歳出 5842 万円  
病院事業……………歳入歳出 24 億 4363 万 1 千円  
在宅生活支援事業…歳入歳出 3618 万 4 千円

3 件の特別会計は、全員一致で可決された。

## 町道路線を認定（路線名 山王橋線）

鶴田字峠山 365-1 地先～鶴田字代畑 281 地先 221m

### 3 月定例議会報告

**平成 28 年度一般会計補正予算は歳入歳出 7760 万円の増額で歳入歳出総額 66 億 8354 万 6 千円である。** ※他、6 件の特別会計の補正予算は全員一致で可決された。

陳情 1 号と請願 3 号は陳情内容と請願内容は同一であるため、一緒に審査を行った。

#### 陳情

#### 陳情 1 号 水道料金引上げ条例を制定しないことを求める陳情書

提出者／住民目線で政治を変える会 南部 共同世話人 大塚 勝他 4 名

賛成		反対		討論	
① 水道、下水道や国民健康保険税等の公共料金の負担を減らすこと。引き下げは維持すべき。	② 値上げは 2 年目 3 年目の状況を見て検討すべき。	③ 水道会計は独立採算であるが、繰入は違法ではなく経営のためには公金の繰入は当然のこと。	① 経営状況は、27 年度決算では、累積欠損が 1 億 3500 万円の赤字、運用現金が 1400 万円しかない。厳しい状況である。	② 公共料金はみんなで支えるもの。水道事業もみんなで守るのが基本だ。	

議員は、議会の議決すべき事件につき、二人以上の賛成者を持って、議会で議案を提出する事が出来る。

#### 請願

#### 請願 3 号 平成 32 年からの水道料金改定に反対を求める請願書

提出者／南部町水道料金を考える会 代表 岡田 厚美 紹介議員／加藤 学、真壁 容子、亀尾 共三

条例名／議員名（議席番号順）	加藤	荊尾	滝山	長束	白川	三嶋	仲田	板井	景山	細田	井田	亀尾	真壁
上記、水道料金引上げ条例を制定しないことを求める陳情書の採決結果	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
平成 32 年からの水道料金改定に反対する請願書の採決結果	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○

#### 陳情

#### 陳情 2 号「沖縄の声に共鳴して地方自治の堅持を日本政府に求める意見書」

提出者／鳥取県労働組合総連合 議長 田中 暁

賛成		反対		討論	
① 沖縄の声は 2013 年に安倍総理大臣に提出された「沖縄建白書」が一番集約されたもので、オスプレイの配置撤回と普天間基地閉鎖を県内移設の断念を求められている。	② 日本を守るとあるが、今までやってきたことは、他国への出撃基地となっている自治体と国との関係で民主主義民意を守るべき。	③ 世界でも最も危険な基地といわれる「普天間飛行場」の移設は地域住民の危険回避のため必要。	② 外交と防衛は国の専権事項であり、尖閣諸島をはじめとした領海や領空侵犯はあり。現状を考えるとやむを得ない。		

請願、陳情名／議員名（議席番号順）	加藤	荊尾	滝山	長束	白川	三嶋	仲田	板井	景山	細田	井田	亀尾	真壁
沖縄の声に共鳴して地方自治の堅持を日本政府に求める陳情書の採決結果	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○

#### 請願

#### 請願 4 号 テロ等組織犯罪準備罪（共謀罪）の創設に反対する請願書

提出者／鳥取県労働組合総連合 議長 田中 暁

上記、請願書を衆議院、参議院議長に提出するよう発議されたが、現在国会にて、審議されようとしている状況であり、当議会で審査するのは拙速であると判断し、全員一致で継続審議することに決定した。

6 ページに  
続く



## 発議

①南部町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例について  
内容は、議員の任期満了等で職を離れたとき、議員報酬を支給する時は「その月まで」となっていたが、この度「その日まで」に改め議員報酬を支給する。

②複合施設建設調査特別委員会の設置について  
委員長／井田 章雄  
副委員長／三嶋 義文  
委員は、他の12名の議員で構成する。

③地方行政調査特別委員会の設置について  
委員長／三嶋 義文  
副委員長／白川 真

※全員一致で可決された。

## 一般質問

## 一般質問ダイジェスト

あなたの声も

# 町政に問う!

	議員名	発言時間	質問事項	
1	白川立真	20	1	水道事業
2	荊尾芳之	25	1	観光振興
			2	複合施設(さいはく公民館)の建設
3	景山 浩	20	1	大学等学校の誘致活動の意義について
			2	新たな工業用地の必要性について
4	板井 隆	30	1	町財政の運営について
			2	地域公共交通網再編計画とふれあいバス運行計画について
5	加藤 学	25	1	ゴミの処理について
			2	給食の食物アレルギー対策について
			3	残土処分場②
			4	水道料金問題②
6	亀尾共三	30	1	生涯活躍のまち推進計画を問う
			2	子育て支援を問う
7	仲田司朗	25	1	法勝寺公園の整備について
			2	高齢者の移動手段対策
8	滝山克己	20	1	少子化対策と子育て支援事業について
			2	運転免許証自主返納者に対する支援について
9	真壁容子	30	1	保育士の大量退職とその対応を問う
			2	保育園の指定管理を問う
			3	町保育士の採用増と非常勤職員の待遇改善を求める
10	細田元教	30	1	行政施策に民間の活力を



### 【質問の通告】

一般質問は、議題と関係なく行財政全般にわたる議員主導による政策論議で、通告制で行っている。

### 【一般質問の時間】

定例議会において行われ、南部町は議員からの質問時間は30分と定められている。  
町民皆様の声を町政に問います。

水道事業

Q

健全経営に重点を

A

まずは料金統一を優先したい

町長



**白川** この度の水道条例改正案は、会見・西伯両地区の料金統一を優先したものと なっている。

しかし、このプランでは、赤字経営をさらに悪化させることになり、その補填に一般財源を投入しなければならぬ。

水道会計は、今、大変厳しい財政状況になっている。財源不足のため、水道本管や施設の更新さえままならない現状について集落説明会などを活用し、町民の皆様にしつかりと説明することが重要である。

この改正案でなければ会見・西伯両地区の合意は得られにくいと言われるが、その要因は、南部町民としての一体感に起因することが大きいと思う。まずは、健全経営を重視した改正を求める。

**町長** 合併以来、水道料金の格差を埋めるため、審議会の中でも様々な議論をしてきた。この大きな課題を前に進めなければならぬ。

平成28年度、水道料金審議会へ3つのプランを提案させていただいた。その答申として、高い西伯料金をいったん会見料金に合わせ、3年後、全体的に料金を上げていくというプランを答申いただいた。



両地区の料金格差を埋めるため、ここは一般財源を投入して料金体系を統一する。さらに今後、健全経営のため全体的に料金を上げていくという方法こそ、皆様に受け入れていただくための最善の方法だと思っている。ご理解をいただきたい。

観光振興

Q

法勝寺城山公園の観光資源力強化について

A

魅力あふれる法勝寺城山公園に整備する 町長



**荊尾** 南部町は、町内全域を重要な里地里山の指定を受けて、さらに全国に向けて観光振興、観光戦略を実施し、観光客をわが町に呼び込むことが重要と考える。

新年度の予算編成に当たり観光振興の柱となる取り組みについて伺う。

また、法勝寺川土手から法勝寺城山公園は桜の名所として多くの観光客で賑わう城山公園の不要な樹木を伐採し、観光資源として整備し、眺望の素晴らしい公園に観光客を呼び込みたいと考える。

まずは、広域連携である。平成30年に鳥取県西部の市町村で行う伯耆国「大山開山1300年祭」に取り組み。

次に魅力向上である。観光関連施設、宿泊施設にエコ環境の整備を行う。若者世代の情報収集、発信のツールであり、これにより観光客の滞在時間を増やしていく。

そして、情報発信、知名度向上である。5月の「出張なんでも鑑定団イン」とり南部町」や10月の「第14回日本オオサンショウウオの会

南部町大会」のイベントを通じて、全国に向けて発信していく。

町指定文化財の法勝寺城山公園の整備について、この公園は、法勝寺川桜並木を一望できる花見スポットとして賑わったが、現在は老木となり、枝折れやテングス病の問題が出て観光資源として集客力があるとは言えない状況である。

文化財ということと単純に樹木の伐採というわけにはならないが、教育委員会と協議を行い、文化財に影響がないようにし、城山公園が魅力ある花見スポットであるための整備を行う。

## 大学等学校誘致の意義

景山 浩 議員

Q

若者流出対策には大学誘致が必要

A

現状では誘致は難しい

町長



南部町単独では難しいが、西部圏域で力を合わせた学校の誘致が望まれる。

町長

南部町では高校進学で県外

に、大学進学で県外にというケースが続いており、この流れを変えることは非常に難しい。

また、その後の就職でも出来るだけ地元に戻り続けることが

しいが業種や職種が限られている。就業機会の確保のために企業誘致や企業支援を行うこととしている。

学生数が減少し学生獲得競争が激化する中であって、国が進める大学の地方移転は非常に難しいと考えている。

高校を卒業した子どもたちの多くが県外に出てしまい、帰りたくても帰れないのが実情だ。

地元で大学等があれば、大人になる学生時代を地元で過ごし、地元の将来を考え、地元愛の醸成につながるのと同時に、地元に残ってくれる若者が増える。



## 町財政の運営状況

板井 隆 議員

Q

新年度及び今後の財政運営について

A

適正な財政運営を追求していく

町長



板井

一般会計新年度予算は

68億9,200万円で、前年度対比10%の増額であり、町政をさらに加速する予算である。

しかしながら、歳入の8割弱が国・県からの依存財源だ。

町財政の運営状況について伺う。

①新年度予算の財政内訳について。

②基金取崩しの要因。

③上水道会計への一般会計繰入の現状と今後の見通し。

④今後の財政の見解。

町長 ①新年度予算では、国からの地方交付税31億

円、国・県からの支出金11億7,300万円、起債3億9,700万円を借り入れる予定で、自主財源の町税は9億2,500万円で全体の13・4%である。歳入歳出のバランスがとれず、基金から7億2,700万円を繰り入れた。

繰り出す。さらに、今年度に限り水道料金改定に伴う使用料金の減収を見込み、1億1,523万円を基金から繰り入れた。

④合併から10年以上が経過し、地方交付税も縮小され、更に人口減少、超高齢化社会による税収減は避けて通れない。真に必要な事業を精査し、適正な財政運営を追求していく。





水道料金②

加藤 学 議員

Q 800筆以上の「住民の声」にどう応えるのか

A 重く受け止めつつ、ご理解いただきたい 町長



加藤 会見地区を中  
心に署名活動

町長 平成29年2月  
10日南部町水

民の声」に町長はど  
う応えるのか。  
く受け止め、この度  
の提案をさせていた  
だいた。どうかご理  
解を頂きたい。

800筆以上の署名  
を行い約20日間で  
800筆以上の署名  
をあつめた。前町議  
の植田均氏と一緒に  
町長へ直接（2月10  
日）提出した。署  
名の内容は「3月議  
会で3年先の水道料  
金の値上げを決める  
必要はない」と云う  
もの。会見地区の有  
権者数は3000人  
程であり、その中で  
800人以上の署名  
は無視出来ない「住  
民の声」ではないか。  
西伯地区でも同様の  
署名を集めている。  
（最終的には約  
1500人）この「住  
民の声」に町長はど  
う応えるのか。  
く受け止め、この度  
の提案をさせていた  
だいた。どうかご理  
解を頂きたい。



生涯活躍のまち推進計画

亀尾 共三 議員

Q NPO法人への財政支援の対応はどうか

A 地方創生推進交付金で対応する 町長



亀尾 総務省に認め  
られた南部町

版CCRC計画は、  
財源の半分は町の借  
金である。内容を問  
う。

NPO法人なんぶ  
里山デザイン機構へ  
の財政支援の金額、  
法勝寺のお試し住宅  
海外協力隊受け入れ  
等について計画を問  
う。

町長 財源を確保す  
る手段は、国  
に対して地方創生推  
進交付金の補助申請  
をした。補助率は2  
分の1であるが、交  
付税により措置され  
ることになっている。  
NPO法人なんぶ

里山デザイン機構へ  
の支援は、今年度  
は事業費として2、  
495万4,000  
円の補助金を交付し  
た。8件の空き家改  
修を行い、移住者の  
方に貸し出しを行う。  
空き家の家賃収入を  
増やすことで徐々に  
補助金を減らし、自  
己資金での運営に切  
り替えていく予定で  
ある。

平成29年4月から  
運営するお試し住宅  
「えん処・米や」は、  
デザイン機構に貸し  
出し施設の運営をし  
てもらい、現在、法  
勝寺自治会の方と  
一緒に利用検討会を  
定期的に行っている。  
単なるお試し住宅  
としての利用だけで  
なく多目的な施設の  
活用を考えておられ

る。なんぶ里山デザ  
イン大学の講座会場、  
法勝寺を中心とした  
地域の方々の交流の  
場、厨房を利用した  
チャレンジカフェ、  
桜の季節には一式飾  
りの展示会場などが  
検討されている。

海外協力隊経験者  
の方に移住してもら  
い、JOCA南部事  
務所を設立し、海外  
ボランティア経験の  
現地での様子を、町  
内各所で講演してい  
ただく。

次年度は、独立行  
政法人国際協力機構  
（JICA）の交流  
事業を実施してい  
ただく予定である。

## 高齢者の移動手段対策

仲田司朗 議員

Q

介護タクシー等を利用できるシステムを

A

公共交通検討委員会で協議する

町長



移動手段の確保については喫緊の課題であると承知している。買い物や通院はもちろんだが、高齢者にとつて日常、移動手段がないという環境は生活の質の低下に直結するので、外出頻度を意識的に増やすことがとても大切である。運転免許証の自主返納も促す一方で町内の介護タクシー、福祉タクシーがもっと使いやすいすくなれば通院が楽になるだけではなく、例えば住民同士が楽しみを求めタクシーに乗り合わせて外出できるような環境が生まれ、積極的な外出促進も図れるかもしれない。

を運営する事業関係者を交えて公共交通検討委員会を設け、公共交通再編計画の協議を進めている。今後、協議を進めていく中で、持続可能で利便性の高い公共交通とすることとあわせて、高齢の方々とつてもより利用しやすくするための支援として、運転免許証の自主返納支援や介護タクシーへの助成についても今後検討していきたい。

仲田

年々高齢化が進む中で、車

には乗れず、買い物や病院等の受診に支障をきたしている方や、身体機能や判断能力の低下などを理由として運転免許証を自主返納したいと考えている高齢ドライバーの方も増えている。その方を支援するために、介護タクシーを利用できる（クーポン券を発行する）システムができないのか。

町長

独居高齢者や高齢者夫婦世帯がふえていく中で、高齢者の方の病院受診や買い物のための

現在、介護タクシー、福祉タクシー



## 少子化対策と子育て支援

滝山克己 議員

Q

第一次計画の成果を問う

A

短期では成果は見えにくいが続する

町長



滝山

少子高齢化対策は南部町の

課題としてサポートプロジェクトで計画し、取り組まれた少子高齢化対策の第1次集約の時期が来ているが計画の内容とその成果、次年度以降の計画があれば伺いたい。

町長

平成26年度から結婚支援、出産・子育て支援、暮らしやすさ支援の三つの柱で少子化対策を始めた。三年目を迎えた一月末時点で結婚支援183万円、出産・子育て支援9億6,227万

円、暮らしやすさ支援6,228万円、計10億2千万円余の事業費をかけ、その成果は、結婚支援において26組のカップル、出産子育て支援では「すみれこども園」の新築、事業費6億8千万円余で定員120名の木の香りのする園舎ができ、併設された子育て交流室では延べ4,500名を超える方々の利用をいただいている。また、子育てに係る経済的な応援メニューとして、1歳未満児を対象として下水道料金の減免、チャイルドシートへの購入助成、町内で誕生され1歳になった方、兄弟も含め誕生祝金の支給、保育園に入園された

世帯にガソリン券の助成、また、延べ1,153名の保育料の軽減、小学生には学級費の補助、小中学生の給食費の補助、また小学1年から3年までの教材費の助成、高校生には定期券・回数券の助成など総額2億3,200万円分の負担軽減を行っている。暮らしやすさへの支援として定住促進奨励金事業、賃貸住宅へ入居されている新婚・子育て世帯の家賃助成、若者住宅の建設、空き家活用事業、3世代同居住宅新築リフォームの補助が短期的には成果は見えにくい今後も継続して取り組む。



## 保育園の指定管理

眞壁容子 議員

Q

年度ごとの精算と監査を

A

監査はできるようになっている

町長



眞壁

指定管理保育園で、10人の保育士退職が新聞でも報道された。給与の低さが一因に挙げられている。現状の正職員人件費1人当たり10年平均320万円というが、収支報告を見ると人件費を町の支出額を大幅に超えながら、黒字をだしている。ちなみに平成26年度はどうであったか。町長はこれをどう考えているか。

今回の待遇改善の人件費の10%加算が真に保育士の待遇改善につながるために、毎年の精算と町

の監査を求める。

町長 平成26年度の人件費の差額は935万6110円である。

320万円は、職員の身分の安定を求めて10年の指定管理をするなかで、当時の職員の10年間の賃金上昇分を10で割って単年度の人件費を導き出したものだ。

増額はボーナスの一時金等、特別な配慮等の協議があったのではと推察できる。あくまでもベースは320万円で10年間の指定管理という約束だ。向こう5年間は伯耆の国がストックしている賃金等を使いながら運営をするというのが必要とされている。

地方自治法に基づ



けば、町長と監査は違う立場で、各課の執行を監査している。町だけではなく、自治体から補助金とか出資をしている団体についても監査ができるようになっていく。県はそういう団体に対しても監査を実施している状況だ。

## 行政施策に民間の活力を

細田元教 議員

Q

行政と民間との協働による施策は

A

今後研究していく

町長



細田

年々交付税が減額になる中、いろいろな施策を行わなければならない。

新年度は、基金から7億円を取り崩す予算となっている。そこで民間力を活用し、協働による今後の施策が必要と思う。

これらの状況を踏まえたうえで、地域振興協議会が今後どの方向へ向かうのか。さらに地方創生事業を、今後どう進めるか、町の考えを問う。

町長 公共施設を建てるとなれば、民間のノウハウを利用し、地域展開型の

PPPと云う公民連携や、公共施設の設計や建設、維持管理、運営に民間資金を活用するPFI等を利用し行政の投資コストを抑えつつ、住民の皆様のサービス満足度を上げる手法を今後の社会インフラ整備をする為に研究を行う。複合施設の建設は、この考え方に沿って民間活力を利用したい。

地域振興協議会は、住民自らが暮らす地域の在り方を考え、地域の力を結集して活動に取り組む場、町が町民の意見を町政に反映し、魅力ある地域づくりを行う場と条例にある。

地域振興協議会が向かう方向は、そこに暮らす住民が、暮

らしの中の課題解決に取り組む組織運営と持続的・安定的に発展するために事業を行うことと考える。

地方創生事業は、人口が減少する社会にあって、地域活力をどう維持するか町民がそれぞれの地域に誇りと豊かさを感じて暮らすことができる社会を創る事業だ。

今後は、事業を展開して行くうえで、民間との協働など十分研究をしていきたいと考える。

# 南部町地域農産物加工施設 えぷろん

## あいみ富有の里 地域振興協議会

「あいみ富有の里」は、要害山や越敷野などに囲まれた12集落、人口1100人あまりの地域で、弥生時代からの数々の遺跡が物語るように、古くから人々の暮らしを支え、今日を迎えています。

しかし、急速に進む少子高齢化の中で、この地域を活力に満ちた地域として維持、発展させることが、差し迫った課題となっています。

その課題の取り組みの一環として、地域の賑わいを作り出すため、農産物加工施設「えぷろん」を交流拠点として活用しています。

昔からこの地域は、果樹をはじめ農業が盛んな地域であり、また、任意組織で農産物や加工品を販売する「夕暮れ市」も行われていました。

平成19年、地域振興協議会の立ち上げに呼応するかのようになり、平成22年にスケールアップした「青空市」が誕生しました。今日、青空市の開店日に合わせ、遠くより来られるお客様も多く、えぷろん豆腐をはじめ様々な農産品や加工品は、お客様と地域住民の懸け橋となっています。

会長 岡田 好弘



盆花市



ちまき作り

## 加工グループ えぷろん

仲よし母さんたちのアイディアと技で生まれてくる美味しい豆腐と味噌を皆さんもぜひどうぞ

大豆の香りに包まれた昔ながらの懐かしい味だよ



美味しい秘訣は、母さんたちの真心が練り込まれていることがミソなんです。



## あとがき

3月は保育園、小学校、中学校をはじめ児童生徒の旅立ちの季節であり、その卒業式に出席いたしました。新しく、夢と希望を持った初々しさの子供たちを見てみると、しっかりとスポーツや勉学に打ち込んで、立派な大人になってこの南部町に帰って来て「次代の南部町を背負って欲しい」と思うひと時でした。

(仲田)

## 広報常任委員会

委員長 仲田 司朗  
副委員長 荊尾 芳之  
委員 景山 浩  
三嶋 義文  
白川 立真  
長束 博信  
滝山 克己  
加藤 学

